



2015年10月26日  
株式会社 リクルート キャリア

## 【訂正版】 HELPMAN JAPAN 「介護サービス業 職業イメージ調査 2015」

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳川 昌紀）が行う、日本の介護サービス業に関わる全ての人を応援するプロジェクト『HELPMAN JAPAN』は、就転職先としての介護サービス業の職業イメージについて実態を明らかにするために、全国の学生、社会人2,575人を対象に調査を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

『介護サービス業』のイメージは、他の産業に比べて、今後伸びていく成長産業というポジティブなイメージがあるが、体力的・精神的にきつい、給与水準が低い仕事といったネガティブなイメージも強い。調査パネル全体での就転職想起率は15.5%、社会人・就転職意向ありの層では、就転職想起率は24.3%という結果となった。

『介護サービス業』の現在従事者の入職理由は「やりがい」や「専門性」の割合が高い。一方で、過去従事者の退職理由は「仕事内容」や「職場環境」の割合が高いことから認知イメージの是正にとどまらず、介護事業者による「仕事内容」や「職場環境」の継続的な改善が必要である。

### 【『介護サービス業』の職業イメージ】・・・P3～5

- 『介護サービス業』の職業ポジティブイメージ：3位以下で順位変動はあるが、上位5項目は前回の2014年調査時同様。最も高かったのは、前回同様「社会的な意義の大きい仕事だと思う」（38.8%(2015年)←46.1%(2014年))、次いで「今後成長していく業界だと思う」（30.9%(2015年)←37.7%(2014年))。
- 『介護サービス業』の職業ネガティブイメージ：上位2項目は前回同様50%を超える。最も高かったのは、前回同様「体力的にきつい仕事の多い業界だと思う」（61.0%）。次いで「精神的にきつい仕事の多い業界だと思う」（53.8%）。
- ポジティブイメージ・ネガティブイメージとも、類似しているのは『福祉サービス業』。

### 【『介護サービス業』についての周囲（家族／親戚／友人／知人）の評価】・・・P6

- 前回に比べ「特に印象はない・よくわからない・あてはまる人がいない」という割合は、すべて減少。「介護」に対する、無関心・知識なしといった層が減りつつある状況がうかがえる。

### 【『介護サービス業』に対する就転職業界としての想起／認知していること】・・・P7～8

- 『介護サービス業』への就転職想起率(※)は15.5%と、『福祉サービス業』と同水準（15.6%）。
- 『介護サービス業』について認知していることのトップは「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」（33.9%）。僅差で「介護事業者にも、人事・総務・営業・企画などの部門があること」（32.1%）。(※) 就職・転職先として思い起こす割合（「想起者・計」の割合）

### 【『介護サービス業の仕事』の事実を知った後の就転職想起率の変化】・・・P9

- 「介護サービス業の仕事」の事実を知った後、『介護サービス業』への就転職想起率（「想起者・計」の割合）は、15.3ポイント上昇（15.5%→30.8%）。前回調査時同様に、事実理解後に想起率は大幅上昇する。

### 【『介護サービス業』の入職理由と退職理由】・・・P10・12

- 『介護サービス業』就業経験者における入職理由は、「仕事にやりがいがあったから」（28.0%）、「資格や専門知識を活かすことができると思ったから」（21.5%）がともに2割以上。
- 『介護サービス業』の過去従事者の退職理由は前回と順位が逆転し、「体力的にきつい仕事だったから」（23.3%）がトップ。次いで「精神的にきつい仕事だったから」（20.4%）。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 社外広報グループ宛  
Mail : kouho@waku-2.com

## 【目次】

1) 『介護サービス業』の職業イメージ・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2) 『介護サービス業』と他業種の職業イメージ・・・・・・・・	4
3) 『介護サービス業』についての周囲の評価・・・・・・・・	6
4) 『介護サービス業』に対する就転職業界としての想起	7
5) 『介護サービス業』について認知していること	8
6) 「介護サービス業の仕事」の事実を知った後の『介護サービス業』への就転職想起率の変化	9
7) 『介護サービス業』への入職理由	10
8) 『介護サービス業』への就職・転職を検討した際、就業意欲を高めてくれたもの	11
9) 『介護サービス業』の退職理由	12

## 【調査概要】

## 【調査方法】

○インターネット調査（マクロミルの調査モニターを使用）

## 【調査期間】

○スクリーニング調査 2015年8月11日(火)～18日(火)

○本調査 2015年8月18日(火)～19日(水)

## 【調査対象】

○スクリーニング調査：全国の15～64歳の男女 39,839人回収

※回収時に性別、年代別、地域ブロック別の「平成24年就業構造基本調査」と「平成26年度学校基本調査」のそれぞれの比率を元に割り付けを実施。

性別（2セグメント=男性、女性）×年代別（3セグメント=18～34歳、35～54歳、55～64歳）×地域ブロック別（4セグメント=「関東1都3県（東京、神奈川、千葉、埼玉）」「関西（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）」「東海（岐阜、愛知、三重）」「その他」）=24セグメントによる割り付け。

○本調査：対象者数：2,575人

## ●対象者内訳

## 《社会人》

4つの回答者層（「介護サービス業の経験なし・介護サービス業非想起層」「介護サービス業の経験なし・介護サービス業想起層」「介護サービス業の経験あり・過去従事者」「介護サービス業の経験あり・現在従事者」）についてスクリーニング結果の出現率を元にウエイトバックをかけて集計を行っている。

※介護サービス業の経験なし=今までに3カ月以上介護サービス業で働いたことがない者

介護サービス業の経験あり=今までに3カ月以上介護サービス業で働いたことがある者

介護サービス業の想起層=介護サービス業について今後、就職・転職先として

「第1候補として考えたい」「候補の業種のひとつとして考えたい」

「就職・転職先として検討する可能性がある」いずれかを選択した者

介護サービス業の非想起層=介護サービス業について今後、就職・転職先としては

「あまり考えないと思う」「まったく考えないと思う」いずれかを選択した者

## 《学生》

文部科学省「平成26年度学校基本調査」の数値を参照し、

これと男女の構成比が同じになるようにスクリーニング調査で回収を行ったうえで、

本調査回答にウエイトバックをかけて集計を行っている。

## ●ウエイトバック値

	スクリーニング調査		本調査		WB値		
	出現数	構成比 (%)	回答者数	構成比 (%)			
社会人	合計	34,822	100.0	1,957	100.0		
	介護サービス業経験なし・介護サービス業非想起層	28,880	82.9	721	36.8	2.25112	
	介護サービス業経験なし・介護サービス業想起層	4,360	12.5	721	36.8	0.33985	
	介護サービス業経験あり・過去従事者	894	2.6	206	10.5	0.24390	
	介護サービス業経験あり・現在従事者	688	2.0	309	15.8	0.12513	
学生	合計	4,841	100.0	618	100.0		
	高校生						
	男性	964	19.9	105	17.0	22.2	1.30624
	女性	1,102	22.8	204	33.0	22.0	0.66769
	大学・短大・専門学校生						
	男性	1,510	31.2	178	28.8	30.5	1.05818
	女性	1,265	26.1	131	21.2	25.3	1.19298

文部科学省 「平成26年度学校基本調査」 から算出した構成比 (%)		WB値
22.2		1.30624
22.0		0.66769
30.5		1.05818
25.3		1.19298

## 1) 『介護サービス業』の職業イメージ

『介護サービス業』の職業イメージとして、最もスコアが高かったのは「体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」(61.0%)。次いで「精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」(53.8%)、「給与水準が低めの業界だと思ふ」(48.0%)、「他人の人生に関わるのが大変そう」(46.1%)など、ネガティブイメージが上位を占めるのは、前回と同様の傾向。

- ポジティブイメージとしては、「社会的な意義の大きい仕事だと思ふ」(38.8%)が全体7位で登場。
- 前回に比べて全般的にイメージスコアの水準が低くなっているが、ネガティブ項目に比べてポジティブ項目(上位)のポイント低下がやや目立つ。
  - ・ ポジティブイメージトップの「社会的な意義の大きい仕事だと思ふ」「今後成長していく業界だと思ふ」「人との交流がやりがいにつながる業界だと思ふ」は、前回に比べ7~8ポイント低下。
- 社会人の男性と女性を比べるとポジティブ・ネガティブとも上位3項目の顔ぶれは同じで、男女で順位が異なる。
  - ・ 1位の項目は共通だが、男女で2位と3位の項目が逆転する。
- 学生の男性と女性を比べるとポジティブ・ネガティブともに1位・2位の項目は同じ。ただし、いずれも女性のスコアが男性を大きく上回る。

## ■ 『介護サービス業』の職業イメージ (全体/複数回答)

		介護サービス業のポジティブイメージ (%)											
		社会的な意義の大きい仕事だと思ふ	今後成長していく業界だと思ふ	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思ふ	人との交流がやりがいにつながる業界だと思ふ	仕事にやりがいがある業界だと思ふ	専門知識や技術面でスキルアップしている業界だと思ふ	雇用不安が少ない業界だと思ふ	様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思ふ	誰でもできる仕事の多い業界だと思ふ	ワークライフバランスを取って働ける業界だと思ふ	社風の良い会社が多い業界だと思ふ	グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思ふ
[2014年]全体		46.1	37.7	35.6	37.4	27.7	19.6	18.2	11.9	10.2	5.2	4.7	3.2
[2015年]全体		38.8	30.9	29.8	28.9	22.9	15.9	15.4	8.5	8.4	4.5	3.3	3.2
社会人: 性・年代別	社会人・計	39.4	32.4	30.8	26.6	21.4	15.5	16.1	8.4	7.9	4.1	2.4	2.8
	男性	39.7	30.6	23.5	22.4	18.3	11.2	14.5	5.5	6.8	3.7	1.2	2.7
	男性・18~34歳	39.8	27.2	22.1	21.7	24.4	11.8	13.7	4.1	10.4	4.2	0.7	2.2
	男性・35~54歳	37.5	31.0	23.9	22.0	16.8	12.9	13.8	6.4	6.8	4.1	2.0	2.9
	男性・55~64歳	43.6	33.1	24.3	23.9	15.4	7.5	16.4	5.2	3.6	2.4	0.2	2.8
	女性	39.1	34.4	38.7	31.1	24.7	20.1	17.8	11.6	9.2	4.5	3.6	2.9
	女性・18~34歳	39.0	40.1	47.5	37.1	28.8	25.6	22.9	15.8	6.0	4.1	3.9	3.7
学生: 性別	学生・計	36.9	26.3	26.6	36.4	27.8	17.2	13.4	8.7	9.6	5.6	6.3	4.4
	男性	27.3	21.4	16.0	27.2	20.1	10.3	10.2	4.9	10.1	4.0	5.6	5.4
	女性	47.6	31.8	38.4	46.6	36.4	24.9	17.1	12.9	9.1	7.4	7.0	3.3

※ [2015年] 全体の降順ソート

		介護サービス業のネガティブイメージ (%)															
		体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	給与水準が低めの業界だと思ふ	他人の人生に関わるのが大変そう	離職率が高い業界だと思ふ	個人の向き・不向きがはっきりする業界だと思ふ	補助金類の少ない会社や施設等が多い業界だと思ふ	知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思ふ	社会的地位・評判があまり高くない業界だと思ふ	福利厚生があまり充実していない業界だと思ふ	評価基準が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	給与体系が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	働く人が特定の層に偏っている業界だと思ふ	経営者の個性が強すぎる会社や施設等が多い業界だと思ふ	尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思ふ	他の業界に比べて難しい業界だと思ふ
[2014年]全体		65.7	58.9	51.3	52.5	48.6	49.1	44.8	35.0	31.7	29.4	30.8	28.0	22.3	14.4	15.0	15.6
[2015年]全体		61.0	53.8	48.0	46.1	44.6	43.4	37.4	29.8	29.6	27.0	26.5	25.9	18.9	15.6	13.5	13.0
社会人: 性・年代別	社会人・計	63.8	54.7	52.2	47.1	47.2	44.2	40.2	30.6	30.6	28.5	28.8	28.0	19.0	17.0	13.8	12.3
	男性	58.8	48.8	50.8	43.5	44.6	38.3	40.0	32.0	30.2	28.4	28.0	24.5	19.7	16.0	13.0	12.8
	男性・18~34歳	62.8	59.7	51.2	50.8	44.2	43.1	36.3	30.3	37.4	27.7	23.6	23.1	19.6	16.8	18.0	19.0
	男性・35~54歳	57.7	45.6	48.8	40.9	45.1	39.8	39.4	30.3	28.6	27.4	31.3	27.6	18.8	16.1	10.9	11.4
	男性・55~64歳	57.1	44.4	54.1	41.4	44.1	30.7	44.8	37.1	26.4	31.1	26.1	19.7	21.5	15.3	11.9	9.7
	女性	69.3	61.1	53.7	51.1	50.0	50.6	40.4	29.0	31.0	28.7	29.5	31.8	18.3	18.0	14.6	11.6
	女性・18~34歳	68.3	70.5	55.7	55.5	51.2	54.5	43.1	31.0	31.6	34.5	26.1	34.9	16.6	15.9	11.4	16.5
学生: 性別	学生・計	52.2	51.2	34.8	42.8	36.3	40.8	28.7	27.4	26.5	22.2	19.3	19.4	18.4	11.4	12.6	15.2
	男性	42.0	40.6	32.0	32.8	33.4	33.9	23.0	23.3	24.9	18.2	15.9	15.1	15.3	12.3	14.8	14.8
	女性	63.6	62.9	37.9	54.0	39.5	48.5	35.0	32.1	28.3	26.6	23.2	24.1	21.9	10.4	10.1	15.6

※ [2015年] 全体の降順ソート

+10Point : [2015年]全体より10ポイント以上高いスコア

-5Point : [2015年]全体より5~10ポイント未満低いスコア

+5Point : [2015年]全体より5~10ポイント未満高いスコア

-10Point : [2015年]全体より10ポイント以上低いスコア

## 2) 『介護サービス業』と他業種の職業イメージ：①ポジティブイメージ

『介護サービス業』の“ポジティブイメージ”の上位5項目は以下の通り。

- ①「社会的な意義の大きい仕事だと思う」(38.8%)
- ②「今後成長していく業界だと思う」(30.9%)
- ③「資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う」(29.8%)
- ④「人との交流がやりがいにつながる業界だと思う」(28.9%)
- ⑤「仕事にやりがいがある業界だと思う」(22.9%)

『介護サービス業』と非常に類似したイメージを持たれているのは『福祉サービス業』。

- トップイメージも介護と同じだが、そのスコアは『介護サービス業』の方が高い。
  - ・ 『福祉サービス業』の上位5項目の中で、『介護サービス業』のスコアを上回ったのは「仕事にやりがいがある業界だと思う」のみ。

介護同様に資格を持って従事する『医療サービス業』は『介護サービス業』と比較するとポジティブなイメージを抱いている割合が高い。

- トップイメージは、「資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う」で5割を超える。
  - ・ 『介護サービス業』のトップイメージである「社会的な意義の大きい仕事だと思う」は、2位であるにもかかわらず、48.1%と『介護サービス業』を10ポイント近く上回る。

## ■ 『介護サービス業』と他業種の職業イメージ（全体/各複数回答）

介護サービス業 【2015年】全体 ポジティブイメージ (%)			福祉サービス業 【2015年】全体 ポジティブイメージ (%)			医療サービス業 【2015年】全体 ポジティブイメージ (%)		
順位		(%)	順位		(%)	順位		(%)
1位	社会的な意義の大きい仕事だと思う	38.8	1位	社会的な意義の大きい仕事だと思う	34.6	1位	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う	51.7
2位	今後成長していく業界だと思う	30.9	2位	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う	29.4	2位	社会的な意義の大きい仕事だと思う	48.1
3位	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う	29.8	3位	人との交流がやりがいにつながる業界だと思う	28.4	3位	仕事にやりがいがある業界だと思う	40.4
4位	人との交流がやりがいにつながる業界だと思う	28.9	4位	仕事にやりがいがある業界だと思う	24.6	4位	専門知識や技術面でスキルアップしている業界だと思う	40.0
5位	仕事にやりがいがある業界だと思う	22.9	5位	今後成長していく業界だと思う	21.4	5位	雇用不安の少ない業界だと思う	34.3
6位	専門知識や技術面でスキルアップしている業界だと思う	15.9	6位	専門知識や技術面でスキルアップしている業界だと思う	15.3	6位	人との交流がやりがいにつながる業界だと思う	21.3
7位	雇用不安の少ない業界だと思う	15.4	7位	雇用不安の少ない業界だと思う	12.6	7位	様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思う	19.5
8位	様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思う	8.5	8位	様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思う	8.4	8位	今後成長していく業界だと思う	19.1
9位	誰でもできる仕事の多い業界だと思う	8.4	9位	ワークライフバランスを取って働ける業界だと思う	7.1	9位	グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思う	15.8
10位	ワークライフバランスを取って働ける業界だと思う	4.5	10位	誰でもできる仕事の多い業界だと思う	6.2	10位	ワークライフバランスを取って働ける業界だと思う	11.9
11位	社風の良い会社が多い業界だと思う	3.3	11位	社風の良い会社が多い業界だと思う	5.3	11位	社風の良い会社が多い業界だと思う	9.0
12位	グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思う	3.2	12位	グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思う	3.9	12位	誰でもできる仕事の多い業界だと思う	3.1

IT・情報・通信産業 【2015年】全体 ポジティブイメージ (%)			観光・ホテル業 【2015年】全体 ポジティブイメージ (%)			外食サービス業 【2015年】全体 ポジティブイメージ (%)		
順位		(%)	順位		(%)	順位		(%)
1位	専門知識や技術面でスキルアップしている業界だと思う	42.6	1位	人との交流がやりがいにつながる業界だと思う	36.8	1位	誰でもできる仕事の多い業界だと思う	43.0
2位	グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思う	40.4	2位	グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思う	22.3	2位	人との交流がやりがいにつながる業界だと思う	24.6
3位	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う	39.1	3位	仕事にやりがいがある業界だと思う	21.0	3位	様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思う	15.1
4位	今後成長していく業界だと思う	29.5	4位	社風の良い会社が多い業界だと思う	17.2	4位	ワークライフバランスを取って働ける業界だと思う	13.3
5位	仕事にやりがいがある業界だと思う	26.7	5位	様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思う	11.9	5位	仕事にやりがいがある業界だと思う	13.1
6位	様々な働き方が可能で長く働くことができる業界だと思う	17.0	6位	誰でもできる仕事の多い業界だと思う	11.8	6位	社会的な意義の大きい仕事だと思う	7.6
7位	社会的な意義の大きい仕事だと思う	16.1	7位	今後成長していく業界だと思う	10.5	7位	雇用不安の少ない業界だと思う	7.3
8位	ワークライフバランスを取って働ける業界だと思う	15.6	8位	ワークライフバランスを取って働ける業界だと思う	10.1	8位	社風の良い会社が多い業界だと思う	6.2
9位	雇用不安の少ない業界だと思う	12.0	9位	専門知識や技術面でスキルアップしている業界だと思う	10.0	9位	今後成長していく業界だと思う	6.0
10位	社風の良い会社が多い業界だと思う	10.6	10位	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う	9.9	10位	グローバルに活躍できる可能性のある業界だと思う	5.5
11位	人との交流がやりがいにつながる業界だと思う	5.6	11位	社会的な意義の大きい仕事だと思う	9.7	11位	専門知識や技術面でスキルアップしている業界だと思う	4.7
12位	誰でもできる仕事の多い業界だと思う	3.5	12位	雇用不安の少ない業界だと思う	6.5	12位	資格や専門知識を活かすことができる業界だと思う	4.0

※比較業種は厚生労働省が公表する2013年度の職業別有効求人倍率（パートタイムを含む常用）のデータを参照し、「サービスの職業」と「専門的・技術的職業」に属している有効求人倍率が1.6倍を超える職種の中から抽出した。

## 2) 『介護サービス業』と他業種の職業イメージ：②ネガティブイメージ

『介護サービス業』の“ネガティブイメージ”の上位は以下の通り。

- ①「体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」(61.0%)
- ②「精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ」(53.8%)
- ③「給与水準が低めの業界だと思ふ」(48.0%)
- ④「他人の人生に関わるのが大変そう」(46.1%)
- ⑤「離職率が高い業界だと思ふ」(44.6%)

『介護サービス業』と非常に類似したネガティブイメージを持たれているのは『福祉サービス業』。

- 上位2項目も介護と同じだが、そのスコアは『介護サービス業』の方が圧倒的に高い。
  - ・「給与水準が低めの業界だと思ふ」が5位に位置するが、36.8%と『介護サービス業』に比べそのスコアは低い。

『外食サービス業』のネガティブイメージのトップは「給与水準が低めの業界だと思ふ」であるが、そのスコアは35.3%と『介護サービス業』に比べて10ポイント以上低かった。

## ■ 『介護サービス業』と他業種の職業イメージ (全体/各複数回答)

介護サービス業 【2015年】全体 ネガティブイメージ (%)		福祉サービス業 【2015年】全体 ネガティブイメージ (%)		医療サービス業 【2015年】全体 ネガティブイメージ (%)	
順位		順位		順位	
1位	体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	1位	体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	1位	他人の人生に関わるのが大変そう
2位	精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	2位	精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	2位	精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ
3位	給与水準が低めの業界だと思ふ	3位	他人の人生に関わるのが大変そう	3位	個人の向き・不向きのはっきりする業界だと思ふ
4位	他人の人生に関わるのが大変そう	4位	個人の向き・不向きのはっきりする業界だと思ふ	4位	体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ
5位	離職率が高い業界だと思ふ	5位	給与水準が低めの業界だと思ふ	5位	他の業界に転職するのが難しい業界だと思ふ
6位	個人の向き・不向きのはっきりする業界だと思ふ	6位	補助金類の会社や施設等が多い業界だと思ふ	6位	働く人が特定の層に偏っている業界だと思ふ
7位	補助金類の会社や施設等が多い業界だと思ふ	7位	離職率が高い業界だと思ふ	7位	離職率が高い業界だと思ふ
8位	知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思ふ	8位	知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思ふ	8位	経営者の個性が強すぎる会社や施設等が多い業界だと思ふ
9位	社会的地位・評判があまり高くない業界だと思ふ	9位	福利厚生があまり充実していない業界だと思ふ	9位	補助金類の会社や施設等が多い業界だと思ふ
10位	福利厚生があまり充実していない業界だと思ふ	10位	社会的地位・評判があまり高くない業界だと思ふ	10位	評価基準が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ
11位	評価基準が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	11位	評価基準が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ		知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思ふ
12位	給与体系が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	12位	給与体系が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	12位	福利厚生があまり充実していない業界だと思ふ
13位	働く人が特定の層に偏っている業界だと思ふ	13位	働く人が特定の層に偏っている業界だと思ふ	13位	尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思ふ
14位	経営者の個性が強すぎる会社や施設等が多い業界だと思ふ	14位	経営者の個性が強すぎる会社や施設等が多い業界だと思ふ	14位	給与体系が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ
15位	尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思ふ	15位	他の業界に転職するのが難しい業界だと思ふ		給与水準が低めの業界だと思ふ
16位	他の業界に転職するのが難しい業界だと思ふ	16位	尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思ふ	16位	社会的地位・評判があまり高くない業界だと思ふ

IT・情報・通信産業 【2015年】全体 ネガティブイメージ (%)		観光・ホテル業 【2015年】全体 ネガティブイメージ (%)		外食サービス業 【2015年】全体 ネガティブイメージ (%)	
順位		順位		順位	
1位	個人の向き・不向きのはっきりする業界だと思ふ	1位	個人の向き・不向きのはっきりする業界だと思ふ	1位	給与水準が低めの業界だと思ふ
2位	働く人が特定の層に偏っている業界だと思ふ	2位	体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	2位	社会的地位・評判があまり高くない業界だと思ふ
3位	経営者の個性が強すぎる会社や施設等が多い業界だと思ふ	3位	精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	3位	離職率が高い業界だと思ふ
4位	精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	4位	給与水準が低めの業界だと思ふ	4位	個人の向き・不向きのはっきりする業界だと思ふ
5位	知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思ふ	5位	経営者の個性が強すぎる会社や施設等が多い業界だと思ふ	5位	体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ
6位	他の業界に転職するのが難しい業界だと思ふ	6位	離職率が高い業界だと思ふ	6位	福利厚生があまり充実していない業界だと思ふ
7位	離職率が高い業界だと思ふ	7位	福利厚生があまり充実していない業界だと思ふ	7位	給与体系が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ
8位	給与体系が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	8位	評価基準が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	8位	評価基準が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ
9位	評価基準が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	9位	社会的地位・評判があまり高くない業界だと思ふ	9位	精神的にきつい仕事の多い業界だと思ふ
10位	体力的にきつい仕事の多い業界だと思ふ	10位	給与体系が明確でない会社や施設等が多い業界だと思ふ	10位	尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思ふ
11位	福利厚生があまり充実していない業界だと思ふ	11位	他の業界に転職するのが難しい業界だと思ふ	11位	経営者の個性が強すぎる会社や施設等が多い業界だと思ふ
12位	尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思ふ	12位	知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思ふ	12位	知名度や規模の小さい会社が多い業界だと思ふ
13位	給与水準が低めの業界だと思ふ		働く人が特定の層に偏っている業界だと思ふ	13位	他の業界に転職するのが難しい業界だと思ふ
14位	社会的地位・評判があまり高くない業界だと思ふ	14位	尊敬できる上司や仲間が少ない業界だと思ふ	14位	働く人が特定の層に偏っている業界だと思ふ
15位	補助金類の会社や施設等が多い業界だと思ふ	15位	補助金類の会社や施設等が多い業界だと思ふ	15位	補助金類の会社や施設等が多い業界だと思ふ
	* 他人の人生に関わるのが大変そう		* 他人の人生に関わるのが大変そう		* 他人の人生に関わるのが大変そう

\* =該当項目なし

※比較業種は厚生労働省が公表する2013年度の職業別有効求人倍率(パートタイムを含む常用)のデータを参照し、「サービスの職業」と「専門的・技術的職業」に属している有効求人倍率が1.6倍を超える職種の中から抽出した。

## 3) 『介護サービス業』 についての周囲の評価

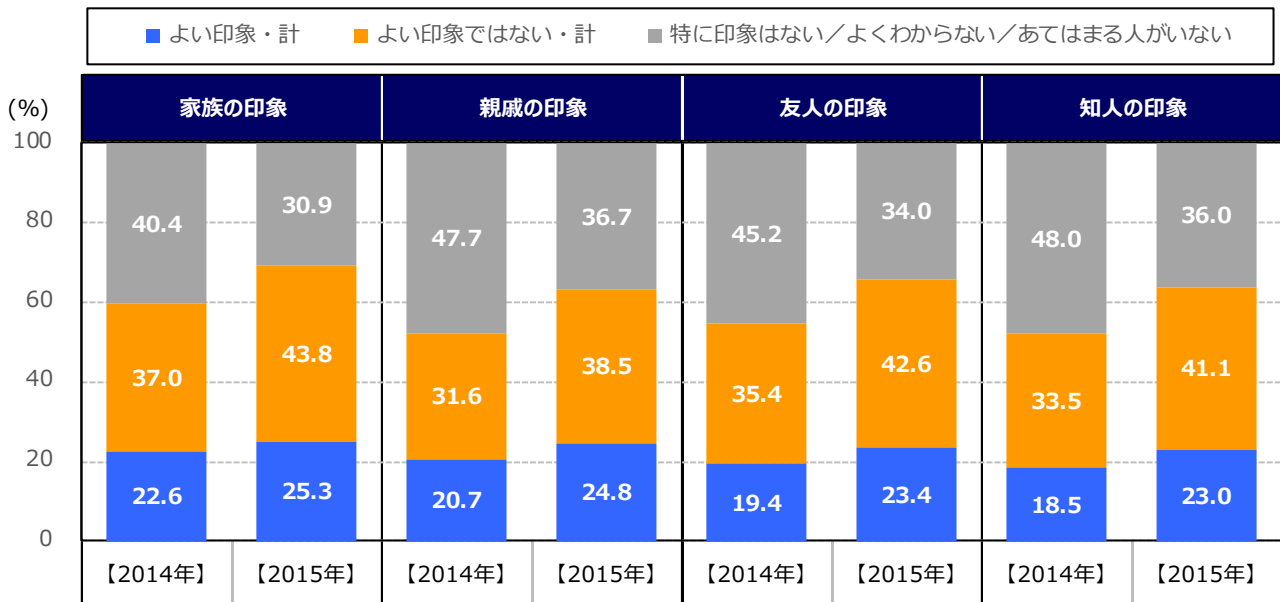
調査対象者の周囲の方たち（家族／親戚／友人／知人）が抱く『介護サービス業』に対する印象をたずねた。

前回に比べ「特に印象はない・よくわからない・あてはまる人がいない」という割合は、（家族／親戚／友人／知人）すべて減少。“介護”に対する、無関心・知識なしといった層が減りつつある状況がうかがえる。

「よい印象・計」も「よい印象ではない・計」とも増加したが、ボリュームが大きいのは「よい印象ではない・計」。

- 社会人の男女別にみると、「よい印象・計」のスコアは4項目とも女性が男性を大きく上回っているが、「よい印象ではない・計」はスコア差がほぼみられない。
- 学生の男女別にみると、「よい印象・計」のスコアは4項目とも女性が男性を大きく上回り、「よい印象ではない・計」のスコアは男性の方が高くなっている。

## ■ 『介護サービス業』 についての周囲の評価（全体/各単一回答）



## ■ 『介護サービス業』 についての周囲の評価

「よい印象・計」「よい印象ではない・計」のスコア一覧（全体/各単一回答）

(%)

		よい印象・計				よい印象ではない・計			
		家族の印象	親戚の印象	友人の印象	知人の印象	家族の印象	親戚の印象	友人の印象	知人の印象
	【2014年】全体	22.6	20.7	19.4	18.5	37.0	31.6	35.4	33.5
	【2015年】全体	25.3	24.8	23.4	23.0	43.8	38.5	42.6	41.1
社会人： 性・年代別	社会人・計	25.2	25.0	24.0	24.0	45.3	40.2	43.1	41.9
	男性	21.7	20.0	18.5	18.3	43.8	41.1	43.0	42.7
	男性・18～34歳	23.8	19.7	18.0	17.4	37.3	36.1	40.1	40.5
	男性・35～54歳	20.6	19.6	18.6	18.2	42.8	39.1	40.0	39.5
	男性・55～64歳	21.6	20.9	18.9	19.5	51.9	49.6	51.5	50.9
	女性	29.1	30.5	29.9	30.2	46.9	39.2	43.2	41.0
女性・18～34歳	35.7	39.8	28.8	31.5	44.2	32.6	45.6	40.6	
女性・35～54歳	30.4	30.6	32.6	31.6	42.2	37.3	39.3	37.9	
女性・55～64歳	21.1	22.0	26.3	26.5	57.2	48.5	47.5	46.5	
学生： 性別	学生・計	25.5	24.2	21.6	19.6	39.4	33.2	41.1	38.6
	男性	21.4	20.5	16.9	16.6	40.1	36.4	44.6	42.2
	女性	30.0	28.2	26.9	23.0	38.6	29.6	37.3	34.7

+10Point : 【2015年】全体より10ポイント以上高いスコア  
+5Point : 【2015年】全体より5～10ポイント未満高いスコア

-5Point : 【2015年】全体より5～10ポイント未満低いスコア  
-10Point : 【2015年】全体より10ポイント以上低いスコア

## 4) 『介護サービス業』に対する就転職業界としての想起

『介護サービス業』への就転職想起率(※)は15.5%と、『福祉サービス業』と同水準(15.6%)。いずれの業種とも、前回2014年からほぼ横ばいの結果。

●属性別にみると、社会人『就転職意向あり』層の24.3%が『介護サービス業』を想起。前回とほぼ同水準。

・社会人『就転職意向あり』層では、男性は全年代とも前回は下回ったが女性は全年代とも想起率が上昇。

特に高いのは『女性・35～54歳』。

※就転職想起率：就職・転職先として思い起こす割合（「想起者・計」の割合）

## ■『介護サービス業』への就転職想起率\_他業種間比較(全体/各単一回答)

業種	想起者・計					想起者・計	【2014年】 想起者・計
	第1候補として 考えたい	候補の業種の ひとつとして 考えたい	就職・転職先 として検討する 可能性がある	就職・転職先 としてはあまり 考えないと思う	就職・転職先 としてはまったく 考えないと思う		
介護サービス業 (高齢者分野：介護福祉士・ケアマネジャーなど)	2.1%	7.7	18.2		66.4	15.5	16.4
福祉サービス業 (高齢者分野以外：保育士など)	1.6	6.6	7.4	18.3	66.1	15.6	15.5
医療サービス業 (医師、薬剤師、看護師、保健師など)	5.6	4.2	7.6	16.1	66.6	17.3	16.8
IT・情報・通信産業 (システムエンジニア、プログラマーなど)	4.7	6.4	10.8	18.0	60.0	22.0	22.7
観光・ホテル業 (フロント、客室係など)	1.4	8.4	13.3	19.8	57.2	23.0	22.8
外食サービス業 (ファミリーレストラン、カフェの店員・スタッフなど)	2.0	7.5	13.5	20.6	56.4	23.0	22.6

※比較業種は2013年度の職業別有効求人倍率(パートタイムを含む常用)のデータを参照し、

「サービスの職業」と「専門的・技術的職業」に属している有効求人倍率が1.6倍を超える職種の中から抽出した。

## ■『介護サービス業』への就転職想起率\_属性別比較(全体/単一回答)

属性	属性	想起者・計					想起者・計	【2014年】 想起者・計
		第1候補として 考えたい	候補の業種の ひとつとして 考えたい	就職・転職先 として検討する 可能性がある	就職・転職先 としてはあまり 考えないと思う	就職・転職先 としてはまったく 考えないと思う		
[2014年]全体		2.3	5.8	8.3	18.0	65.6	16.4	
[2015年]全体		2.1	5.7	7.7	18.2	66.4	15.5	16.4
社会人： 就転職意向 ×性別・年代別	社会人・計	2.1	5.3	8.2	18.4	66.1	15.6	17.2
	就転職意向あり・計	3.4	8.6	12.3	23.9	51.8	24.3	23.5
	男性	3.0	8.2	11.8	20.2	56.9	23.0	25.7
	男性・18～34歳	3.5	8.6	12.1	20.8	55.0	24.2	26.6
	男性・35～54歳	3.0	7.9	12.2	20.4	56.5	23.1	26.7
	男性・55～64歳	2.1	7.9	10.2	18.2	61.7	20.1	21.7
	女性	3.8	9.0	12.9	27.6	46.7	25.7	21.9
	女性・18～34歳	4.0	7.2	12.0	26.2	50.5	23.2	22.8
	女性・35～54歳	3.8	10.5	13.3	26.2	46.3	27.6	21.9
	女性・55～64歳	3.1	7.8	13.4	36.4	39.3	24.3	19.8
	就転職意向なし・計	1.3	3.3	5.8	15.1	74.6	10.4	13.2
	男性	0.9	2.5	5.0	12.0	79.6	8.4	11.2
	男性・18～34歳	0.8	3.0	4.8	11.8	79.5	8.7	12.6
	男性・35～54歳	1.0	3.0	5.4	12.8	77.7	9.5	11.5
男性・55～64歳	0.8	1.2	4.5	10.8	82.7	6.5	9.8	
女性	1.7	4.3	6.7	18.7	68.7	12.6	15.6	
女性・18～34歳	2.0	3.9	6.6	10.2	77.3	12.5	25.4	
女性・35～54歳	1.8	4.7	7.9	23.3	62.3	14.4	12.5	
女性・55～64歳	1.4	4.0	5.2	17.7	71.7	10.6	15.4	
学生： 性別、 卒業年次別	学生・計	2.2	7.1	5.9	17.5	67.3	15.2	13.9
	男性	3.0	5.9	6.1	15.9	69.1	15.0	9.2
	女性	1.4	8.5	5.6	19.2	65.3	15.5	19.1
	卒業年次	3.3	6.4	4.0	15.8	70.6	13.7	
	就職活動をしていた	2.6	4.1	2.3	17.7	73.4	9.0	
	就職活動をしていない	3.7	7.9	5.0	14.6	68.8	16.6	
卒業年次以外	1.4	7.7	7.3	18.7	64.9	16.4		

+10Point : 【2015年】全体より10ポイント以上高いスコア  
+5Point : 【2015年】全体より5～10ポイント未満高いスコア

-5Point : 【2015年】全体より5～10ポイント未満低いスコア  
-10Point : 【2015年】全体より10ポイント以上低いスコア

※就転職意向「あり」「なし」の定義は以下のとおり

※【2014年】調査では卒業年次について質問をしていない

就転職意向あり・計=「すぐにも就職・転職したい」「条件の良い会社があれば就職・転職したいと思っている」「いずれ就職・転職したいと思っている」いずれかを選択した者。

就転職意向なし・計=「当分は就職・転職するつもりはないが、将来はわからない」「就職・転職するつもりはない」いずれかを選択した者。

※卒業年次は、「高校3年生」「高専生」「大学4年生」「大学5年生」「大学6年生」「大学院1年生」「大学院2年生」「大学院3年生以上」「短大2年生」「専門学校生」「その他学生」いずれかを選択した者。

就職活動をしていた=「現在就職活動中である」「就職活動をしていたが、就職先が決まったので終了した」「就職活動をしていたが、中止した」いずれかを選択した者。

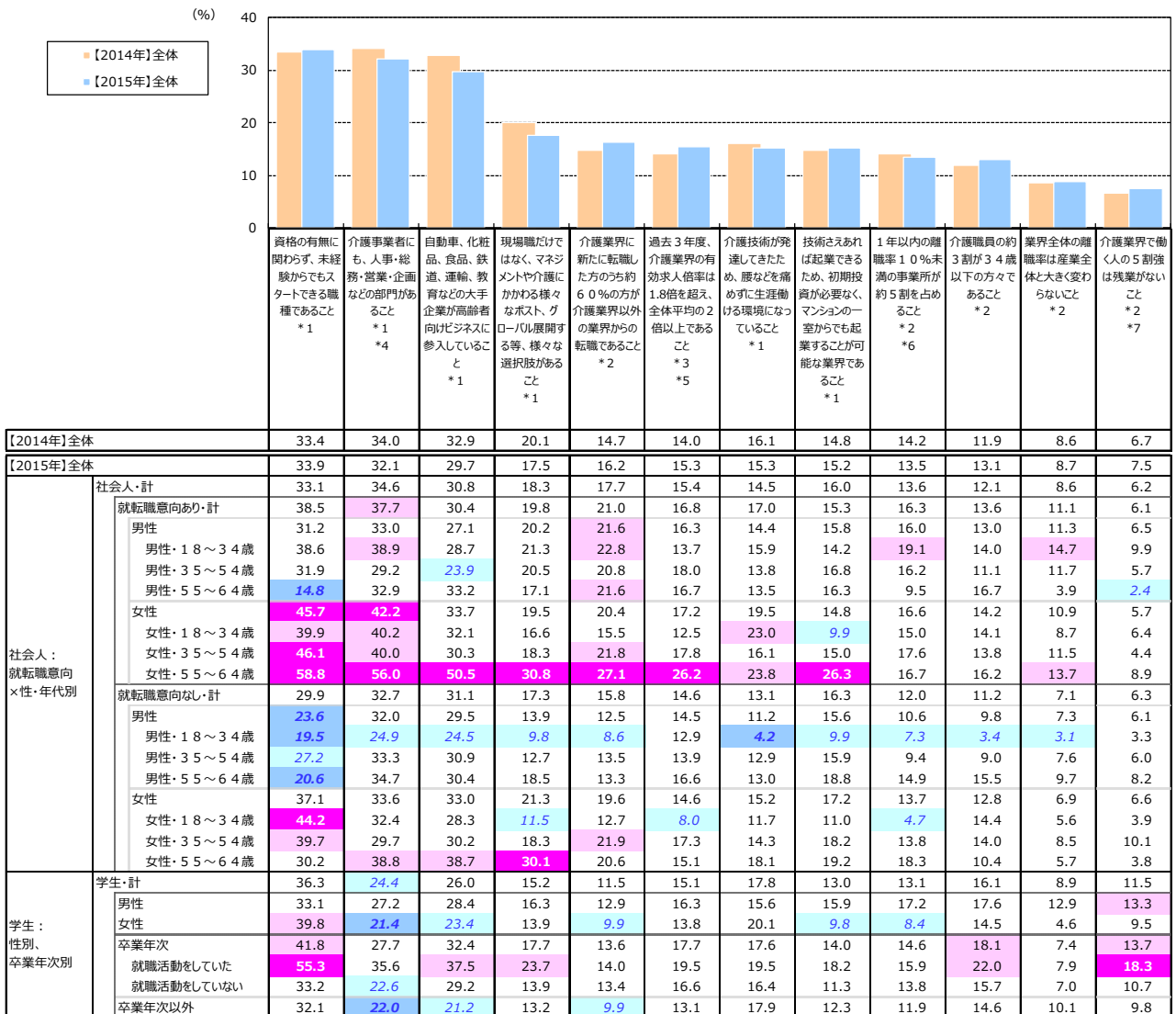
就職活動をしていない=「まだ就職活動を開始していない」「まだ就職活動をする学年ではない」いずれかを選択した者。

5) 『介護サービス業』について認知していること

『介護サービス業』について認知していることのトップは、「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」(33.9%)、僅差で「介護事業者にも、人事・総務・営業・企画などの部門があること」(32.1%)。

- 前回同様、最も認知率が低かったのは「介護業界で働く人の5割強は残業がないこと」(7.5%)
- 大きなポイント変化がない中で、前回に比べやや認知率低下が目立つのは「自動車、化粧品、食品、鉄道、運輸、教育などの大手企業が高齢者向けビジネスに参入していること」。この項目のみ3ポイント以上低下した。
  - ・社会人『就転職意向あり』層を性・年代別にみると、上位項目は男性に比べ女性が高い。全般的に各項目の認知率が高い水準にあるのは『就転職意向あり/女性・55~64歳』層。
  - ・学生は、男女別にみると全般的に『男性』の方がスコアは高め。『女性』は「資格の有無にかかわらず、未経験からでもスタートできる職種であること」のみ突出。『卒業年次』と『卒業年次以外』を比べた場合、全般的に『卒業年次』層の方が認知率は高めとなっている。

■ 『介護サービス業』について認知していること (全体/各単一回答) (「知っていた」の割合)



※【2015年】全体の降順ソート  
 +10Point : 【2015年】全体より10ポイント以上高いスコア  
 +5Point : 【2015年】全体より5~10ポイント未満高いスコア  
 -5Point : 【2015年】全体より5~10ポイント未満低いスコア  
 -10Point : 【2015年】全体より10ポイント以上低いスコア

※提示項目は、基本的な労働統計指標の事実をもとに自社実施の転職セミナーで転職者の認知差がある項目を利用  
 \*1 : 「HELPMAN JAPAN」の取材を通して  
 \*2 : 公益財団法人 介護労働安定センター「平成26年度 介護労働実態調査」より  
 \*3 : 厚生労働省「一般職業紹介状況」より  
 \*4 : 2014年は「介護事業者も普通の会社組織（人事、総務、営業、企画など）があること」  
 \*5 : 2014年は「過去2年度、介護業界の有効求人倍率は1.8倍を超え、全体平均の2倍以上であること」  
 \*6 : 2014年は「1年以内の離職率10%未満の企業が約6割を占めること」  
 \*7 : 2014年は「介護業界の50%の企業が残業がないこと」

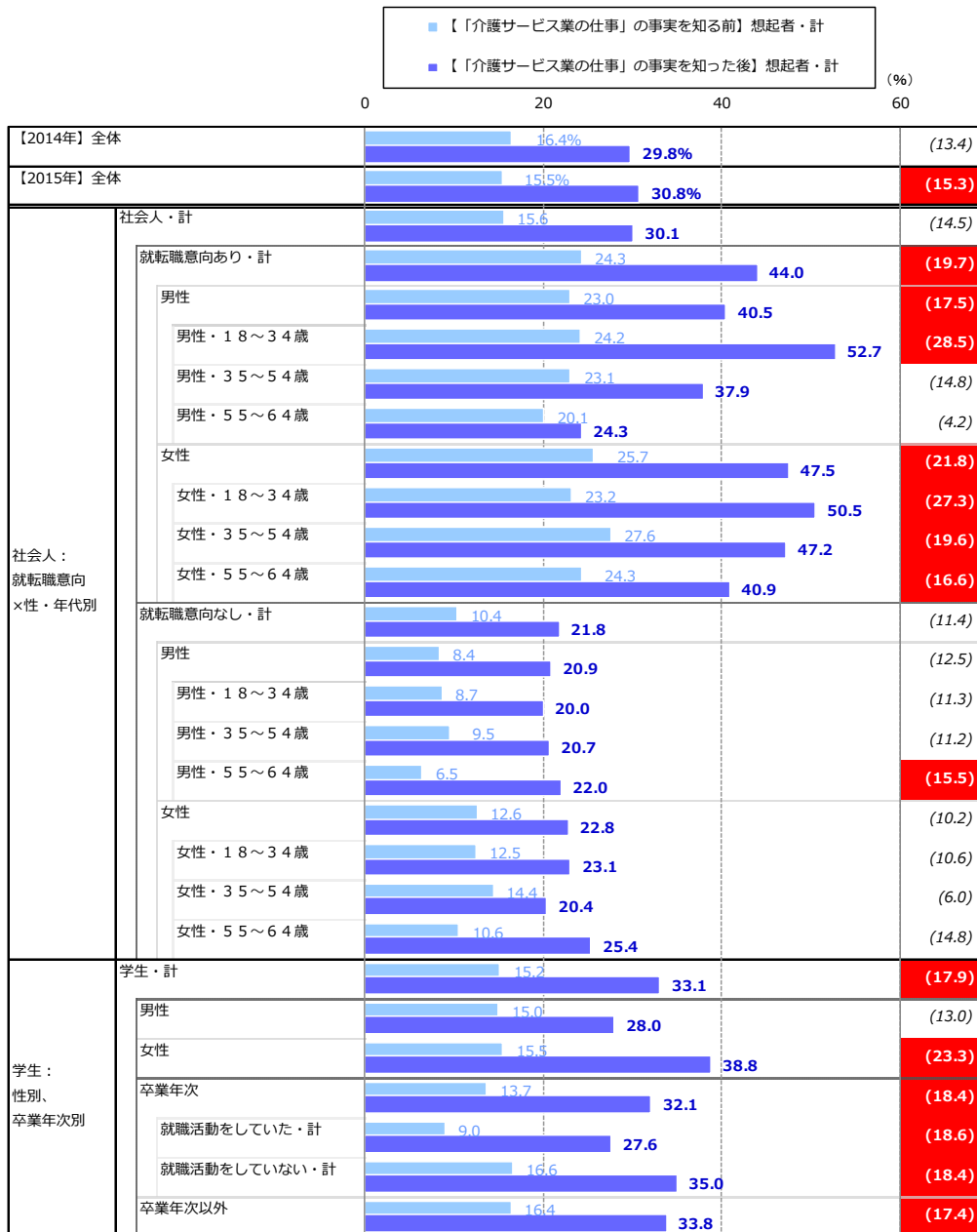


## 6) 「介護サービス業の仕事」の事実を知った後の『介護サービス業』への就転職想起率の変化

『介護サービス業』への就転職想起率「想起者・計」の割合は、  
「介護サービス業の仕事」の事実※を知る前から知った後に15.3ポイント上昇している（15.5%→30.8%）。 前回調査時同様に、事実を知った後に想起率は大幅上昇。

- 社会人・計では14.5ポイント（15.6%→30.1%）、学生・計では17.9ポイント上昇（15.2%→33.1%）。
  - ・ 全属性とも、事実を知った後に就転職想起率は上昇する。
- 社会人で、事実を知った後に想起率が最も上昇したのは『就転職意向あり/男性・18～34歳』層（28.5ポイント上昇）。 ついで『就転職意向あり/女性・18～34歳』層（27.3ポイント上昇）。
- 学生を、卒業年次か否かで区分したところ、両層とも想起率が20ポイント近く上昇。
  - ・ 事実を知る前は13.7%の『卒業年次』層も、事実を知った後に想起率32.1%と『卒業年次以外』層（33.8%）とほぼ同水準。

## ■ 「介護サービス業の仕事」の事実を知った後の『介護サービス業』への就転職想起率の変化（全体/単一回答）



※「介護サービス業の仕事」の事実

- 1年以内の離職率10%未満の事業所が約5割を占めること
- 業界全体の離職率は産業全体と大きく変わらないこと
- 介護業界で働く人の5割強は残業がないこと
- 介護事業者にも、人事・総務・営業・企画などの部門があること
- 介護技術が発達してきたため、腰などを痛めずに生涯働ける環境になっていること
- 自動車、化粧品、食品、鉄道、運輸、教育などの大手企業が高齢者向けビジネスに参入していること
- 現場職だけではなく、マネジメントや介護にかかわる様々なポスト、グローバル展開する等、様々な選択肢があること
- 技術さえあれば起業できるため、初期投資が必要なく、マンションの一室からでも起業することが可能な業界であること
- 資格の有無に関わらず、未経験からでもスタートできる職種であること
- 介護業界に新たに転職した方のうち約60%の方が介護業界以外の業界からの転職であること
- 介護職員の約3割が34歳以下の方々であること
- 過去3年度、介護業界の有効求人倍率は1.8倍を超え、全体平均の2倍以上であること

※（括弧）内数値は【「介護サービス業の仕事」の事実を知った後】-【「介護サービス業の仕事」の事実を知る前】のスコア

※15ポイント以上高いスコアに網掛け： +15Point

※P8と同様に項目を作成。

## 7) 『介護サービス業』への入職理由

『介護サービス業』の入職理由は、

1位：「仕事にやりがいがあると思ったから」（28.0%）

2位：「資格や専門知識を活かすことができると思ったから」（21.5%）

3位：「専門知識や技術面でスキルアップしていけると思ったから」（13.6%）

●男女とも、トップは「仕事にやりがいがあると思ったから」（男性29.6%、女性27.2%）

・2位以降の順位は、男女による違いが大きい。

『男性』では、

2位「社会的な意義の大きい仕事だと思ったから」（17.5%）

3位「専門知識や技術面でスキルアップしていけると思ったから」（15.0%）

4位「自分の志向・価値観に合致した仕事だと思ったから」（14.6%）

5位「今後成長していくと思ったから」（14.2%）

『女性』では、

2位「資格や専門知識を活かすことができると思ったから」（25.4%）

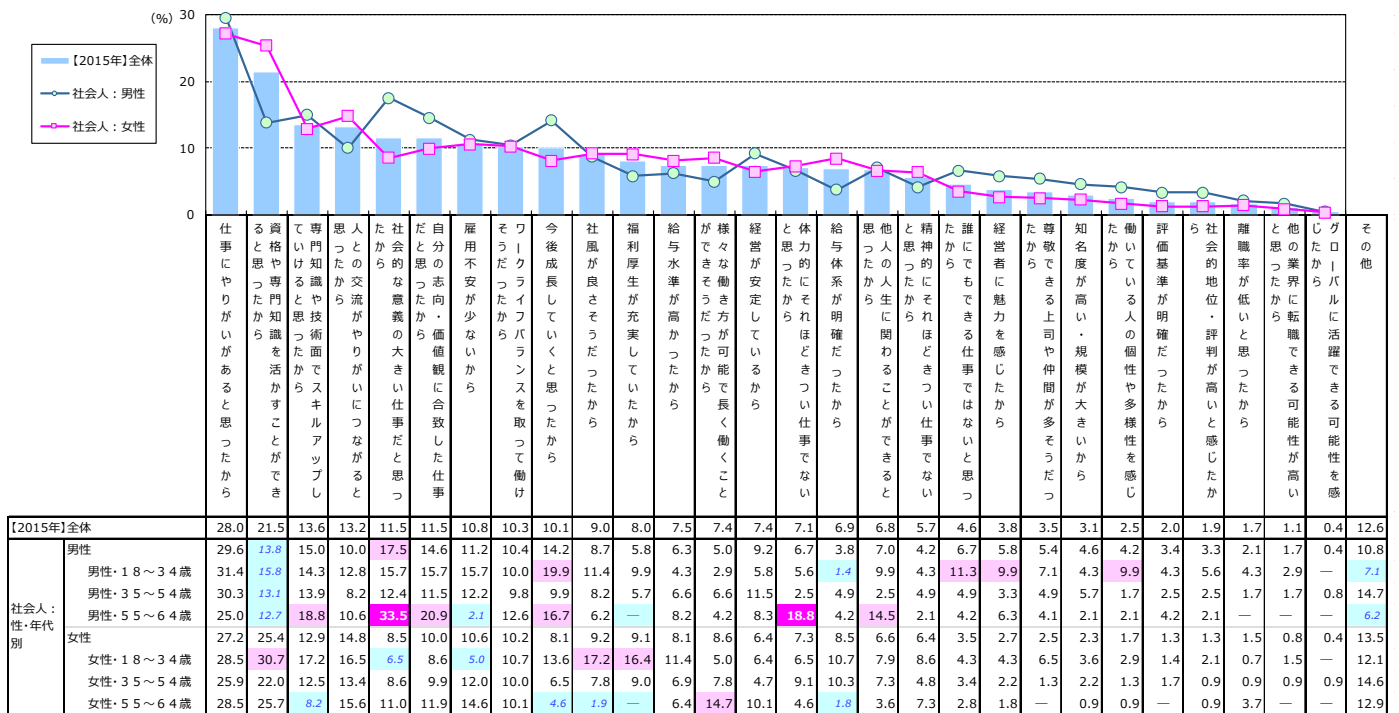
3位「人との交流がやりがいにつながると思ったから」（14.8%）

4位「専門知識や技術面でスキルアップしていけると思ったから」（12.9%）

5位「雇用不安が少ないから」（10.6%）

## ■ 『介護サービス業』への入職理由

(介護サービス業経験あり・現在従事者または過去従事者(離職者)/複数回答)



※ [2015年]全体の階層スコア  
 +10Point : [2015年]全体より10ポイント以上高いスコア  
 -5Point : [2015年]全体より5~10ポイント未満低いスコア  
 +5Point : [2015年]全体より5~10ポイント未満高いスコア  
 -10Point : [2015年]全体より10ポイント以上低いスコア

## 8) 『介護サービス業』への就職・転職を検討した際、就業意欲を高めてくれたもの

『介護サービス業』への就職・転職を検討した際、就業意欲を高めてくれたものとしては、

1位：「自宅からの近さ（通勤の利便性）」（23.7%）

2位：「家族や知人の勧め・後押し」（13.9%）

3位：「ハローワークでの面談や相談」（13.7%）

●4位「介護施設・病院などの見学機会」（11.9%）までが、1割を超える項目。

・『男性』では、

1位「ハローワークでの面談や相談」（15.0%）

2位「自宅からの近さ（通勤の利便性）」（12.1%）

3位「家族や知人の勧め・後押し」（11.7%）

4位「いろいろな事業者が参加する就職フェア、就職イベント」（10.5%）

5位「一緒に働きたい」と思える人との出会い」（10.4%）

・『女性』では、

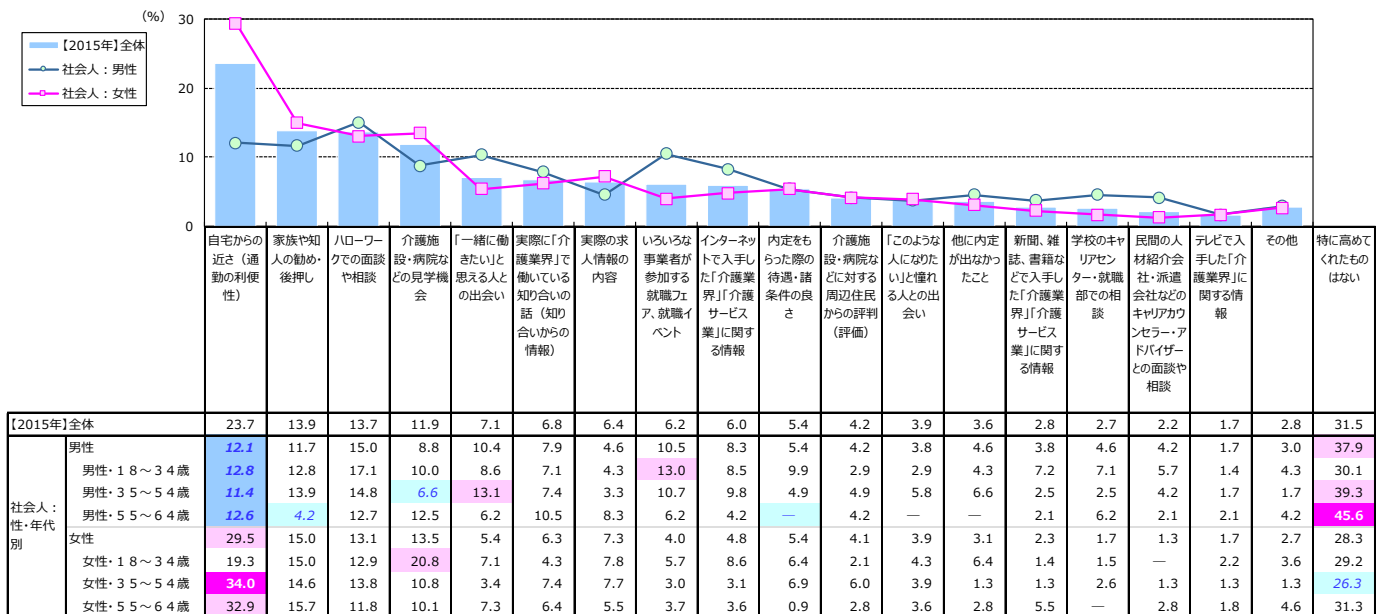
1位「自宅からの近さ（通勤の利便性）」（29.5%）

2位「家族や知人の勧め・後押し」（15.0%）

3位「介護施設・病院などの見学機会」（13.5%）

4位「ハローワークでの面談や相談」（13.1%）

5位「実際の求人情報の内容」（7.3%）

■ 『介護サービス業』への就職・転職を検討した際、就業意欲を高めてくれたもの  
(介護サービス業経験あり・現在従事者または過去従事者(離職者)/複数回答)

※【2015年】全体の降順ソート  
 +10Point : 【2015年】全体より10ポイント以上高いスコア  
 +5Point : 【2015年】全体より5～10ポイント未満高いスコア  
 -5Point : 【2015年】全体より5～10ポイント未満低いスコア  
 -10Point : 【2015年】全体より10ポイント以上低いスコア

## 9) 『介護サービス業』の退職理由

『介護サービス業』の退職理由の前回1位・2位が逆転し、精神面よりも体力面のハードさがトップに。今回追加した“自分自身の体調不良”も退職理由の上位として挙げられ、その傾向は女性でより顕著。

1位：「体力的にきつい仕事だったから」（23.3%←22.3%）

2位：「精神的にきつい仕事だったから」（20.4%←26.7%）

3位：「自分の体調が優れないから」（19.4%\*（2014年は該当項目なし））

## ●『男性』では、

1位「給与水準が低かったから」（30.8%）

2位「尊敬できる上司や仲間が少なかったから」（19.2%）

3位「精神的にきつい仕事だったから」（17.3%）

4位「体力的にきつい仕事だったから」「自分の体調が優れないから」「社風が良くなかったから」「経営者に魅力を感じなかったから」（13.5%）

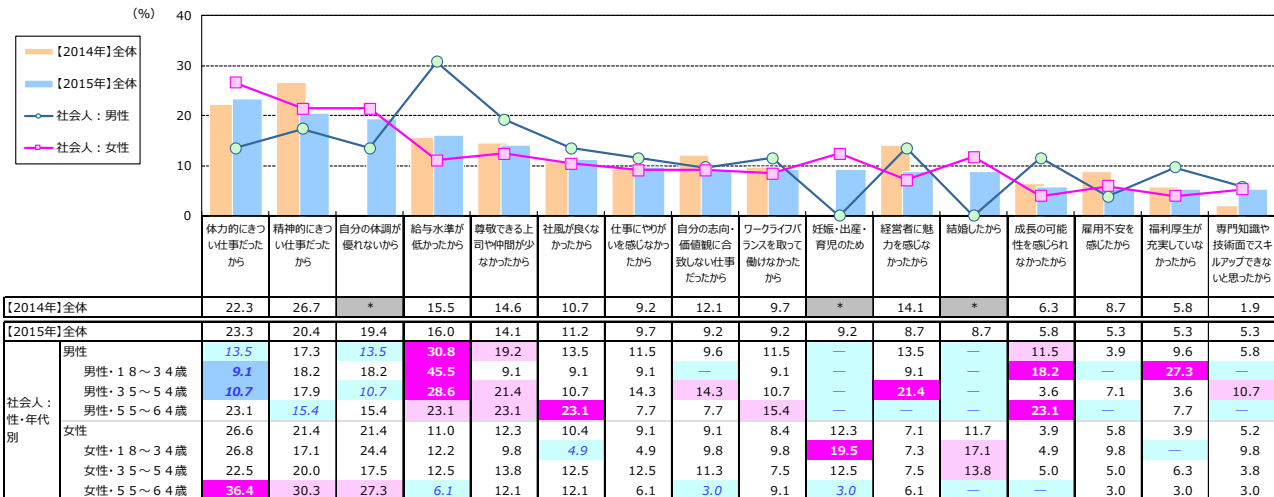
## ●『女性』では、

1位「体力的にきつい仕事だったから」（26.6%）

2位「精神的にきつい仕事だったから」「自分の体調が優れないから」（21.4%）

4位「尊敬できる上司や仲間が少なかったから」「妊娠・出産・育児のため」（12.3%）

## ■『介護サービス業』の退職理由（介護サービス業経験あり・過去従事者（離職者）/複数回答）



※【2015年】全体の降順ソート +10Point：【2015年】全体より10ポイント以上高いスコア -5Point：【2015年】全体より5～10ポイント未満低いスコア

※「\*」は該当項目なし +5Point：【2015年】全体より5～10ポイント未満高いスコア -10Point：【2015年】全体より10ポイント以上低いスコア

※【2015年】全体が5%を超える項目について、グラフとスコアを掲載

理由	2014年全体	2015年全体	社会人：男性	社会人：女性
身内に介護が必要なお客が生じたから	4.9	4.4	1.9	5.8
給与体系が明瞭でなかったから	3.4	4.4	5.8	3.9
評価基準が明確でなかったから	5.3	4.4	5.8	3.9
社会的な意義を感じられない仕事だったから	2.4	3.9	3.9	3.9
離職率が高かったから	7.8	3.4	1.9	3.9
社会的地位・評判が高くないと感じたから	2.4	3.4	1.9	3.9
経営が不安定だったから	4.9	2.9	—	3.9
働いている人が特定の層に偏っていたから	3.9	2.9	—	3.9
資格や専門知識を活かすことができないと思ったから	3.4	2.9	3.9	2.6
他人の人生に介入したから	4.9	2.4	—	3.3
職場まで通えないエリアに引越したから	2.4	2.9	1.9	2.6
知名度が低い小さいから	1.0	1.9	3.9	1.3
誰にでもできる仕事が多かったから	2.9	1.9	—	2.0
長く働く他の業界に転職するのが難しいと思ったから	2.4	1.5	—	2.0
異なる働き方を選択できず、長く働けないと思ったから	5.3	0.5	—	—
グローバルに活躍できる可能性を感じられなかったから	0.5	0.5	—	—
人との交流が少なく、やりがいを感じなかったから	2.4	—	—	—
その他	35.4	17.0	—	—

※【2015年】全体の降順ソート +10Point：【2015年】全体より10ポイント以上高いスコア -5Point：【2015年】全体より5～10ポイント未満低いスコア

※「\*」は該当項目なし +5Point：【2015年】全体より5～10ポイント未満高いスコア -10Point：【2015年】全体より10ポイント以上低いスコア

※【2015年】全体が5%を下回る項目について、スコアのみを掲載